

会議録

会議の名称	社会教育委員の会議（1月定例会）会議録
開催日時	平成25年1月18日（金曜日）14時00分から16時30分まで
開催場所	保谷庁舎3階 会議室
出席者	委員：須永議長、齋藤副議長、内田委員、倉島委員、操野委員、濱崎委員、原委員、矢野委員、山田委員 （欠席）稲葉委員、川崎委員、白木委員、本領委員 事務局：神田主査 （傍聴人 1人）
議題	(1) 社会教育施策の今後のあり方について (2) 研修会について (3) 報告 その他 1. 社教情報第68号の申込みについて 2. 今後の予定
配布資料	資料1 第2回小委員会資料 資料2 東京都市社会教育課長会研修会資料 ・平成24年度社会教育委員研修会の開催について
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 会議内容の要点記録
会議内容	
<p>平成24年12月定例会議の会議録1ヶ所訂正後、承認する。</p> <p>(1) 社会教育施策の今後のあり方について</p> <p>○議長：</p> <p>1月8日（火曜日）と1月16日（水曜日）にそれぞれ7名の参加で小委員会を開催し、配布資料1「第2回小委会資料」を参考にしながら、検討を行った。2月下旬に提言の中間報告を出すことになるが、中間報告としては、今後どういった事項について提言をしていくかという骨子を提示する形で良いと思う。その骨子に添って、6月末までに提言を完成させることになる。中間報告のまとめ方について何かご意見はありますか。</p> <p>委員：</p> <p>案文としては、はじめにの部分で、これまで5年間の国の動き、西東京市の行財政状況等に簡単に触れたらどうか。</p> <p>○委員：</p> <p>提言依頼文によると、行財政改革によって見直しが必要になっていると書かれている。現状の施策の検証、見直し、評価をして、これまでこういうことをやってきたが現状はこうだから見直した結果、こうした方が良いという提言になると思う。</p> <p>○委員：</p>	

第3次行財政改革大綱、教育計画、生涯学習推進計画などをみて、出来ているところ出平成24年12月定例会議の会議録1ヶ所訂正後、承認する。

(1) 社会教育施策の今後のあり方について

○議長：

1月8日（火曜日）と1月16日（水曜日）にそれぞれ7名の参加で小委員会を開催し、配布資料1「第2回小委会資料」を参考にしながら、検討を行った。2月下旬に提言の中間報告を出すことになるが、中間報告としては、今後こういった事項について提言をしていくかという骨子を提示する形で良いと思う。その骨子に添って、6月末までに提言を完成させることになる。中間報告のまとめ方について何かご意見はありますか。

○委員：

案文としては、はじめにの部分で、これまで5年間の国の動き、西東京市の行財政状況等に簡単に触れたらどうか。

○委員：

提言依頼文によると、行財政改革によって見直しが必要になっていると書かれている。現状の施策の検証、見直し、評価をして、これまでこういうことをやってきたが現状はこうだから見直した結果、こうした方が良いという提言になると思う。

○委員：

第3次行財政改革大綱、教育計画、生涯学習推進計画などをみて、出来ているところ出来ていないところを点検し、課題を把握し、社会教育施策として何をやっていくのかを提言していけばよいのではないかと。中でも第3次行財政改革大綱の改革の基本方針に出されている「成果を重視した組織運営体制の整備」を重視した施策を提案したいと思う。

○委員：

取り組めていない分野に取り組むためには、組織や体制づくりについて提言する必要があり、コストを考えないとならないだろう。そうするとある程度は、行財政改革大綱も見ていく必要があると思う。

委員：

地域分権や効率的サービスの提供といった動きに対応した新たな施策のあり方が必要だろう。そういった施策が出来ない理由を明確にすれば、そのためにこういうことをやっっていけば良いといえるだろう。

○事務局：

市の動きとして行財政改革大綱を見ていくことは必要だと思うが、ある程度本来の社会教育行政として大切だということも社会教育委員の会議として提言していただいて良いと思う。今後必要と思われることや望まれることを提言していただいた後、行財政改革大綱や他の庁内計画と調整しながら必要な施策として実現していくことは、事務局の方で進めていくことだと考えている。社会教育として必要な事を見失わないように整理をしていただければ良いと思う。最終的に提言する施策を現実的に取捨選択するとき、行財政改革大綱の目指すものとも照らし合わせながら検討を加えていくことになるのではないだろうか。

○委員：

これまでも大綱に関係なく議論を進めてはいないと思う。大綱の言っている効率的なサービス提供ということは間違っていないだろう。この視点を持って提言内容を検討しても矛盾はないと思う。この会議で議論した社会教育と公民館、図書館との関係の見直しといった課題も、大綱が目指す内容にも沿うものだと思う。

○委員：

今後の施策のあり方としては、効果的なサービス提供のしくみづくりという観点から、合理化・効率化したサービス提供と地域分権が進む中での対応について考えていきたいと思う。具体的な施策をどうするかについては、教育計画や生涯学習推進計画が目指すものに添って、社会教育課の事業を点検してみた。配布資料1「第2回小委員会資料」の中の『社会教育関連施策と現状組織について』を見て頂き、今後これらの事業をどう考えていくか検討していければと思う。生涯学習の推進については、目指すものは良いと思うが、その成果が十分ではない。今後成果を上げるには組織づくりまで踏み込む必要があると思う。全市的事业をコーディネートするためには、市長部局と教育委員会の中間に位置付けられる生涯学習センターのような組織が必要ではないか。また専門家集団による組織づくりも重要だと思う。

○委員：

生涯学習推進計画の理念や施策の方向性はこのままで良いと思うが、今後は高齢者向けの学習機会の充実も図られれば良いと思う。また、効率化というと事務委託や民間委託といったイメージがでてくる。しかし、こういった効率化の流れがあるとしても、教育の推進により福祉サービス需要が減るといった文脈で、教育は大切なのでもっと力を入れるべきといった応援的なメッセージも入れられればと思う。

○委員：

施策推進のために組織を変えると、どうしても人件費がかかるだろう。コストカットとの整合性はどうか。

○委員：

今バラバラになっている取り組みや力をコーディネート機能で、一つの大きな方向にまとめて大きな力にしていくことで、効率化が図れるのではないかと。

○委員：

一つにまとめれば、この部分は、民間委託にしてもできるのではということが出てくるのではないかと。

○委員：

これからは、人材育成が大切になると思う。人材を得れば、仕事の効率アップにもつながるだろう。

○委員：

地域のまつりやイベントの実施、講座のPRなどもどこかで集中一本化した担当で行う。そうするとコストも下がるのではないだろうか。

○委員：

組織体制について具体的な案を出すのはなかなか難しいと感じている。生涯学習は個人学習を支援するものだと思うが、個人での学習は自由である。自分だけ学習して満足する人もいるだろうし、学習成果を社会につなげていきたいかどうかも各自の自由だろう。社会教育は、そういう生涯学習を実践している人たちを、引っ張り出して、地域の社会教育に貢献できる人たちをつなげていくことだと思う。そういったことが、今のままの組織でなぜ出来ないのか、組織を変えないとできないのかといったことを検証しないと組織の改正案の検討は難しいと思う。

○事務局：

提言をまとめていく中で、会議として合意形成される事項もあれば、結論に至らない内容も出てくると思う。まとめ方としては、こういった意見や施策案が出たという形でまとめることもできる。今は、自由にいろいろな意見を出して議論していただければと思う。

○委員：

社会教育施策の現状と課題については、昨年の4月会議の資料をみればよくわかる。そこで出されている課題の解決に向けた提言が出来ればよいと思う。

○委員：

教育計画の策定に関わった。その時も細かい事業の提案をという意見が出たが、計画としては、理念を提案して、それに基づいて各課が予算を要望し、実現していくというものになった。しかし、現実には理念だけだと、各課で考えて、どう予算をとって実現していくかということがなかなかうまくいかないところも出てくる。そこが、5年間たっても進まない部分があるということだろう。社会教育施策についても、現状への反省もあるが理想とするところがある。いくつかの項目について、具体的な提案もしていても良いと思うが、今回の提言は、現状と理想のギャップをうめるためにこうして欲しいという提案をしていくものになるのではないかと思う。

○委員：

世の中の変化に対応した、西東京市の社会教育のあり方を考えていかないといけないだろう。

○委員：

従来のもまだとだめだというロジックも必要だろう。

○委員：

理想に近づけるためのギャップを埋める施策については、これまでの議論の中でも出されていたと思う。これまでの会議の検討を踏まえて、まとめていただき、その案文を基に検討していければと思う。

○委員：

正副議長に案文のたたき台作成をお願いしたい。

○議長：

了解した。3月上旬に中間報告の提出となるので、それに向け、臨時会を設定して進めていきたいがよろしいか。

○全委員：
了解した。

※今後の予定について

- ・ 第1回臨時会：2月8日（金曜日）午後2時から
- ・ 研修会：2月15日（金曜日）午後2時から
- ・ 2月定例会：2月15日か2月下旬（2月8日の臨時会で決定）
- ・ 中間まとめ：3月上旬提出
- ・ 3月定例会：3月15日（金曜日）午後2時から

(2) 研修会について

- ・ 日時：2月15日（金曜日）午後2時から4時
- ・ 場所：保谷庁舎4階研修室
- ・ 講師：田中雅文（日本女子大学教授）

○議長：

提言の中間報告のまとめに向け、参考となる研修内容にしたいと思うので、内容への要望があれば、1月21日（月曜日）までに、事務局に連絡してください。

○全委員：
了解した。

(3) その他

1. 社教情報第68号の申込みについて

○事務局：

購入についての案内が来ているので、希望される方は、1月30日までに事務局に申し込んでください。

○議長：

以上で本日の社会教育委員の会議（1月定例会）は終了する。

※次回会議 平成25年2月8日（金曜日）午後2時から（臨時会）